

東大和横断、歴史探索コース

コース概要 ● 約 5.8km 約 8,290 歩 所要時間：約 87 分 消費カロリー：約 261kcal

狭山丘陵の緑地を辿り緑を満喫
寺社仏閣・札所霊場、名所・旧跡、郷土博物館を巡り
東大和の歴史を探索する
充実の東大和東西横断健脚コース



① 清水観音堂 (東大和市指定文化財) (→P.17 をご参照ください)



② 靈性庵 (東大和市指定文化財)

靈性庵は真言宗智山派寺院の庵室で、狭山三十三観音霊場の十七番目の札所です。
円乗院の賢誉法印(平治元(1159)年寂)が開山となり創建、長さ八寸(約24cm)の本尊、如意輪観世音菩薩は恵心僧都の作といわれています。

③ 雲性寺 (東大和市指定文化財)

狭山三十三観音霊場の十八番目の札所で、堂宇建立は永享11(1439)年と伝えられています。山門は、箱根本陣の一の門として使われていたものをもらい受け、昭和26(1951)年に設置したものです。

本堂の中には、正徳6(1716)年の年号のある珍しい形の阿字庚申(市指定文化財)が安置されています。



A 東大和市長郷土博物館 (→P.2 をご参照ください)



④ 蔵敷太子堂跡 (東大和市指定文化財)

創建年代等は不詳ですが、旧多摩郡山口領にあった唯一の太子堂(聖徳太子を祀るお堂)が置かれていた場所です。太子堂では、江戸時代に寺子屋が開かれ、明治時代には「汎衆学舎」と呼ばれる蔵敷村の学校になりました。今の建物には当時の面影はありませんが、厨子が安置され太子堂が祀られ、東大和市の文化財に指定されています。

⑤ 蔵敷高札場 (東京都指定文化財)

高札場とは、江戸時代に幕府が法度や掟書を発布したり、重罪人の罪状などを記した板札を掲げていた場所で、現在、都内に残っている高札場は、蔵敷高札場と府中高札場の2か所のみとなっています。

蔵敷高札場は慶長8(1603)年に建てられ、昭和5(1930)年に東京府史跡に指定、昭和30(1955)年に右にある石碑が建てられました。東京都の文化財に指定されています。



↑ はやし堂(芋窪観音堂)

⑥ はやし堂 (東大和市指定文化財)

創建年代等は不詳ですが、建立当時、このあたりが雑木林に囲まれていたので「はやし堂」と名づけられたといわれ、芋窪観音堂とも呼ばれる真言宗豊山派の堂宇です。

本尊は如意輪観世音菩薩で、行基作といわれる長さ九寸(約27cm)の像が安置されています。観音堂の左には、大きな地藏菩薩が祀られていて、地藏菩薩の両脇に三体ずつ六地藏が置かれています。

狭山丘陵周辺に点在する狭山三十三観音霊場の十九番目の札所です。



地藏菩薩と六地藏→

⑦ 慶性院

開山以来450年以上の歴史があり、新編武蔵風土記稿では醫王寺と紹介されていた真言宗豊山派の寺院。ご本尊は不動明王で、境内にある水天像は市の文化財に指定されています。

大正11(1922)年に、貯水池の工事によりこの地に移転して来ましたが、慶性門は移設されず残されました。

多摩新四国霊場第四十一番札所・奥多摩新四国霊場第七十八番札所で、霊場参りで訪れる人も多いお寺です。



↑ 本堂



← 水天像

⑧ 芋窪庚申塔 (東大和市指定文化財) (→P.13 をご参照ください)

狭山神社の力石 (パワーストーン)

昔、村の男衆の力比べで持ち上げた「力石」を、通りすがりの女性がひょいっと持ち上げたと言い伝えられています。

その石は現在、狭山神社の石垣の一部として埋め込まれています。その石にさわれば、不思議な力を分けてもらえるといわれています。(伝承不詳)

コラム

